

一般質問

2月8日の本会議において、区長・教育長に対し、各会派の代表6名による一般質問が行われました。質問と答弁の要旨は次のとおりです。



かねだ いさお
金田 功 (台東区議会自由民主党)

まちづくりについて

問 ⑦「浅草地域まちづくり検討委員会」では、今年度どこまで検討されたのか、来年度以降の展開も含めて伺う。④「浅草地区観光まちづくり推進協議会」や「浅草北部まちづくり協議会」などの意見を、地域の活性化にどのように繋げていくのか。**答** ⑦まちづくりの基本理念、基本方針を定め、プロジェクトの達成時期等を検討しています。来年度、まちづくりビジョンのまとめに基づく事業化への取組みを構築します。④区も浅草地区観光まちづくり推進協議会に参画し、取り組んでいます。浅草北部まちづくり協議会には、職員が出向き、まちづくりに取り組んでいます。地域と連携を図り、地域の活性化とまちづくりを積極的に進めます。**問** 北部小包集中局跡地について伺う。⑦取得に向けた交渉の状況は、どのようになっているのか。④活用にあたっては、新東京タワーとの回遊性を含め、浅草や浅草北部のまちづくり、さらには台東区全体の活性化に繋げていかなければならないと考える。地域活性化に資する事業展開や民間活力の導入などを検討することとあったが、現在の検討状況はどうか。**答** ⑦関東財務局と交渉を進めています。関東財務局は、本区に優先的に売却する方向で、検討を進めていると聞いています。④基礎調査を実施しています。議会や関係機関から、ご意見をお聴きし、活用構想策定に向け

準備を進めます。活用にあたっては、区民の皆様が誇りに思えるような施設を整備したいと考えます。**問** ⑦連見茶屋の常設にあたっては、周辺の谷中や根津なども紹介する案内コーナーや、無料休憩所の設置など、来街者の利便性を図る機能を持たせてはどうか。④上野地区の更なる活性化に向けどのように取り組むのか。**答** ⑦上野観光連盟と協議し、平成19年度からの導入に向け、検討しています。④上野地区は、豊かな文化、観光、商業資源に恵まれています。これらの魅力を引き出すための回遊性の確保、安全・安心のまちづくり等を進めます。

新台東病院について

問 医師や看護師の不足、診療報酬改定による病院経営の悪化などが懸念される。病院開設に向けた課題について伺う。**答** 高齢者の在宅生活支援や、質の高いサービスの提供など施設の基本理念の実現が課題であり、医師・看護師などの人材確保や、医療制度改革を見据えた病床のあり方など安定的な経営基盤の確立が必要不可欠です。地域医療振興協会の経験とノウハウを活用し検討しています。早期開設に全力を尽くします。**問** より良い病院にするため、今後もさらに病院経営を担う職員を育成するとともに、都からも有能な人材を派遣してもらうよう取り組むべきと考えるがどうか。**答** 19年度、都への派遣職員の増員を予定しています。また、本区の病院担当部署に若い人材を配置し、育成に努めます。都からの職員の招聘については、即戦力となる有能な人材の派遣を、既に都に働きかけています。



いとう まんじろう
伊藤 萬太郎 (台東区議会区民クラブ)

地方政府としての台東区のあり方について

問 ⑦平成12年度に地方分権一括法が施行され、独自の政策展開がより可能となったが、区ではどのような施策や事業を実施してきたのか伺う。④今後は、国からの移管事務を執行するだけでなく、区独自の施策を展開していくべきと考えるが、どうか。**答** ⑦区では、国や都の規制が多かったまちづくりの分野におきましても、特定街区制度などを活用して、地域特性を活かした独自のまちづくりを推進しています。④引き続き、区の特性を活かした独自の施策を実施していくことが大切であると認識しています。区民ニーズに的確に対応した本区独自の施策を、積極果敢に展開して参ります。

で連携して「心の教育」を推進し、その中で道徳教育の充実も図っているところと伺う。今後は、よきものを更に掘り起こし道徳における地域教材の開発を進めるとともに、下町台東区ならではの、道徳の充実・発展に取り組んで参ります。**問** 毅然と指導を行った教師が、保護者からの訴えで、逆に都教育委員会から指導されてしまうこともあると聞く。現場をよく見極め、よい先生の芽を摘まないようにすべきと考える。子どもたちの規範意識を育むため、毅然とした指導を行うことについて、教育長の所見を伺う。**答** 文部科学省は、児童生徒の懲戒・体罰に関する基準を見直し、新たな解釈・運用の考え方を取りまとめ、公表をしました。体罰は禁止されておりますが、その基準を見直したということは、児童・生徒の規範意識を育むためには、確固たる信念で指導にあたる必要が改めて認識されたものと考えています。教員によって対応が異なることがあり、指導が徹底できないという面もございましたが、指導基準の明確化を図り、それを児童・生徒や保護者に周知するとともに、日常的な指導の中で毅然とした粘り強い指導をしていくことが必要です。教育委員会としましても、指導基準を明確にし、学校を支援して参ります。**問** 土曜スクールは、成功したかのように見えるが、一方で塾に行く生徒と、行かない生徒の格差がいまだにあるなどの課題も残っている。文部科学省では、教員OBの活用などの案を示しているが、どのような対策を行っていくのか。**答** 土曜スクールは教育再生会議の第1次報告においても評価され、その取組みを勧める内容となっています。参加者は、年毎に増えており、一定の成果を上げていると考えています。しかし、土曜スクールに参加をしていない児童・生徒のうち、6割から7割が、家でのんびりする、あるいは遊びに出かけると回答しており、土曜休日が生かされているとはいえない状況にありますので、指導方法や内容の改善を図り、参加率の向上に努めているところです。教育委員会としましても、教員を中心とした指導体制の強化や様々な制度の活用も含めて指導協力者によるサポート体制を充実する等、土曜スクールを更に魅力あるものにしていく学校取組みを支援して参ります。

教育問題について

問 貧富の差により、質の高い教育を受けられる家庭と、受けられない家庭があるが、教育の機会を均等にするため、どのような取組みを行い、今後どのような施策を行っていくのか。**答** 経済格差が教育格差につながるということがあってはならないと考えております。そこで、T・Tや少人数指導等、指導方法の充実とともに、土曜スクールや放課後の学習指導を充実する等、教育の場の充実に努めております。

問 現代社会では、モラルの欠如が指摘されるが、本区では江戸の昔からの歴史と伝統を重んじる、下町の人情を培ってきた。そこで、本区独自の歴史と伝統を踏まえた道徳教材を作成し、道徳教育の方向を示すべきではないか。**答** 区には下町の心の温かさや地域のふれあいなど、素晴らしい伝統や文化、生き方があります。区民憲章の「あしたへ」は、まさにそれを象徴的に表わしたものと考えております。区では「下町台東の美しい心づくり」と銘打って、学校・家庭・地域



すぎやま みつお
杉山 光男 (日本共産党台東区議会議員団)

上野地下道・地下駐車場建設への真摯な反省が必要

問 区長は当初、上野地下駐車場に関して外部監査の必要なしとの姿勢であったが、区民の署名活動などにより、これを受け入れることとなった。こうした重要な問題について、本定例会の開会における区長の所信表明で触れられていなかったのはなぜか。**答** 定例会の開

会にあたり、各施策への理念や考え方、基本姿勢などについて、私の所信として表明しています。今回については、私の第1期最後の定例会ということに鑑み、この4年間の中で、明日の台東区の姿を描きながら進めてきました区政全般にわたる取組みについて、総合的に申し述べた次第です。議員のご質問の件については、これまでも議会に報告しており、今後についても、適切に対応していきたいと考えています。**問** 外部監査の結果を待たずに、区長自らが、駐車場建設について検証すべきである。民間の駐車場建設と比べ余りに巨額な建設費の地下駐車場という手法、巨額建設費の増額をせざるを得なかった経過などに対する真摯な検証なくして、今後の台東区政について語る